

物の整備とルール整備、 人の意識の整備で組織力をあげる

歴史と伝統を継承しつつ、一貫教育を行う私立学校

学習院は、1847年の京都学習院開校以来の歴史と伝統を継承しつつ、一貫教育を行う私立学校として、「幼児の保育から大学教育に至る一貫した教養を与え、高潔な人格、確乎した識見並びに近代人にふさわしい健全で豊かな思想感情を培い、これによって人類と祖国とに奉仕する人材を育成する」(学則総記)ことを目的として、教育を行っています。

学習院目白キャンパスは学生と教員、職員を合わせると最大で9000人を超える人がいます。また、広域避難場所に指定されているため多くの人流れ込む事が予想されるなか安全の確保に努めています。



キャンパス全体をワンセットに考える意識改革

ラップオンをうまく使えば、衛生面の管理では、かなりプラスです。便袋方式では使って閉じますって言われても密閉できませんよね。災害時はすぐにゴミの処理ができるかわからないので、排泄物をストックしなければならない、そう考えると密閉できるというのは重要な観点です。

今後は備蓄品もまだ足りない物が沢山あると思っていますので、買い足しと、夜間・休日等のメンバーが揃ってない時の行動計画なども考慮し進めていこうと考えてます。

備蓄品と行動計画の他には個人の意識改革も必要です。組織図上は学校法人の下に各学校が横並びになっているので、法人と学校を別々の組織として考えがちです。災害対策ではそういう意識で仕事をしたらダメなんです。キャンパス全体をワンセットに考える意識改革が必要です。物の整備とルールの整備、人の意識の整備を同時にやっていくことでトータルでの組織力を上げていきたいと考えています。

Interview



学習院大学
学長室 経営企画課
篠田 雅人 様



学校法人 学習院
総務部総務課
山田 和樹 様